



## 新年のご挨拶

新年おめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でしたが、過去の歴史をみても大体3年くらいでパンデミックは終息しているのです、そろそろ終わりが見えてくるものと思われま。その一方でこの冬は、インフルエンザとの同時感染も危惧されていますが、海外と違い日本人はまだ感染対策をとっているのです、大きな流行はないかとも思われま。

感染症のみでなく、2025年問題、地域医療構想、働き方改革など喫緊の課題も山積しており、コロナで見直しや延期が行われるかとも思われまましたが、今の所、当初の計画通りに進められる模様です。新専門医制度も当院の様な中規模病院にとっては悩ましい問題ですが、制度自体に多少迷走がみられるものの、方向性の大きな変化はみられません。また、施設・設備の老朽化、高額医療機器に加えてDXなどの問題も生じてきており、かさむ資金調達にも頭を悩ませています。第8次医療計画にも対応すべく、病棟改修や高機能放射線治療装置の導入なども予定しています。

問題は色々あるものの当院もそれらに対し対応せざるを得ず、厳しい状況にありながらもその方向に舵を切ってはいますが、マンパワー不足は否めません。働き方改革の趣旨に則り、合理化、効率化、IT化、チーム医療、タスク・シフト/シェアなども進めてはいますが、西尾市は人口当たりの勤務医数が非常に少ない地域であり、そういう状況下で働き方改革まで実行するとなると自ずと限界はあります。

しかし、漸く研修医も集まる様になり、一部の科は依然マンパワー不足の状況にはあるものの、その一方で人的補強される予定がある科もあります。今までご迷惑をおかけして参りましたが、地域住民の方々や開業医の先生方のご要望に、少なくとも一部の科は今まで以上にお応えできるものと存じます。

依然厳しい状況下にはあることは否めませんが、多少乍ら前向きな材料もあり、今後も更に努力して参りますので、ご支援・ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

2023年1月6日



院長 禰宜田 政隆

### 在宅患者一時入院（レスパイト入院）について

当院では2021年4月から、在宅患者一時入院（レスパイト入院）の受入れを開始いたしました。医療管理が必要な方が在宅で療養されており、ご家族が何らかの理由で介護が困難になった場合や介護の方の身体的・精神的疲労の休息などにご活用ください。ご質問・ご相談は地域医療連携室にお問合わせ下さい。



# 災害派遣医療チーム(DMAT)の活動状況について

西尾市民病院 DMAT(災害派遣医療チーム)は、令和4年11月26日(土)に川久保医師と4名の隊員が金沢医科大学病院に派遣された静岡県立総合病院とともにDMAT実動訓練に参加し、本部や診療エリアにおいて机上での活動を行いました。災害時には、今回の訓練を活かし迅速・的確に対応をしていきたいと思えます。災害拠点病院としての役割を果たすため、これからも訓練を重ねて参ります。



## 糖尿病デーイベント

11月11日に開催しました。



まーちゃんも応援に来てくれました。



このイベントを通じて、糖尿病についてより多くの方に知っていただき、予防および治療の推進に繋がる機会となることを願っています。

糖尿病療養支援委員会

西尾市民病院 地域医療連携室  
TEL : 56-3362 FAX : 56-3354



ごあいさつ

旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
本年もご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

地域医療連携室 室長  
大迫さとみ